

【 放 牧 】

1 開催期日 令和6年6月25日(火)～6月28日(金) 4日間  
 2 講義日程

月日	時間	講義名及び講師の所属氏名
6月25日 (火)	13:10 ～13:30	開講式
	13:30 ～14:15	放牧をめぐる情勢 畜産局 飼料課 草地整備計画調整班 課長補佐 安松恵一郎
	14:30 ～15:45	経営視点から見た放牧技術の評価と展望 (元・農研機構中央農業研究センター飼養管理技術研究領域畜産経営グループ長) 恒川 磯雄
	16:00 ～17:15	放牧牛の衛生管理 農研機構 畜産研究部門 畜産飼料作研究領域長 石崎 宏
6月26日 (水)	8:45 ～10:00	放牧における鳥獣害対策 農研機構 畜産研究部門 動物行動管理研究領域 動物行動管理グループ 上級研究員 上田 弘則
	10:15 ～11:30	放牧を進めるために 一般社団法人日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー 梨木 守
	12:30 ～13:45	放牧の実務について 山口県農林総合技術センター 畜産技術部 放牧環境研究室 山口型放牧グループ 専門研究員 多度津大介
	14:00 ～17:15	総合討論 「放牧推進にあたっての各地域の課題と対応等について」  農研機構 畜産研究部門 畜産飼料作研究領域 省力肉牛生産グループ長 手島 茂樹  一般社団法人日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー 梨木 守  山口県 農林総合技術センター畜産技術部 放牧環境研究室 山口型放牧グループ 専門研究員 多度津大介
6月27日 (木)	8:45 ～12:00	高張力線及び簡易電気牧柵の設置実習
	13:30 ～16:45	未来のアグリ株式会社 福島営業1部 部長 伊藤 雅美  独立行政法人家畜改良センター 企画調整部 管理課 調査役 中村 道長  企画調整部 管理課 飼養調査第1係長 木村 円香
6月28日 (金)	8:30 ～10:00	放牧管理技術 農研機構 西日本農業研究センター 周年放牧研究領域 周年放牧グループ 上級研究員 平野 清
	10:15 ～11:45	放牧草地の更新について 農研機構 東北農業研究センター 緩傾斜畑作研究領域 生産力増強グループ 上級研究員 東山 雅一
	11:45 ～12:00	閉講式

事情により講師及び時間を変更する場合があります。

※講師所属について「農研機構」と記載あるものは「国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構」の通称です

### 3 開催場所（宿泊等の問合せ先）

独立行政法人 家畜改良センター 中央畜産研修施設

住 所 〒961-8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原1

T E L 0 2 4 8 - 2 5 - 7 0 6 0

F A X 0 2 4 8 - 2 5 - 6 7 5 5

### 4 受講対象者の範囲

国、地方公共団体、畜産関係団体又は農協等生産者団体等の職員で当該分野に配属されて原則5年以内の者、農業に従事する者

### 5 受講者数 20名程度

### 6 受講者の留意事項

(1) 受講者は、宿泊等については研修開始10日前までに中央畜産研修施設へ直接申し込むこと。

なお、領収書の宛先は原則個人名宛てになっているが、変更を希望する方は、宿泊届提出の連絡事項にその旨書き込むようにすること。

また、事情により欠席することとなった場合は、速やかにその旨を研修施設に連絡すること。

(2) 研修施設への入所は、研修初日の9時00分～12時00分までに行うこと。

なお、家畜伝染病予防のため、研修施設に入所する当日は、極力、畜産関連施設等への訪問は避けること。

(3) 受講者は、共済組合員証（健康保険証）、筆記用具、寝巻等を持参すること。

(4) 受講にあたって、現地研修に係る携行品等については別途指示する。

(5) 受講生は、総合討論※（6月26日（水）実施）に関して、発言用資料（A4判タテ1枚程度）の作成等事前準備をしておくこと。

具体的には、受講者決定通知時に別途連絡する。

#### ※総合討論について

(目的) 受講者が担当する地域や業務で抱えている課題を解決するための情報収集をねらいとして実施します。

(難易度) 全体討議方式にて、各受講者が事前提出資料等に基づいて説明を行い、受講者及び助言者と意見交換を行います。

(その他) 各受講生の事前提出資料は、受講者全員に配布します。

本研修に関する問合せ先

農林水産省畜産局総務課調整班 高橋

TEL 03-6744-0568（ダイヤルイン）

## 中央畜産技術研修会「放牧」講座の実習用持参品について

(独)家畜改良センター中央畜産研修施設

「牧柵の設置実習」(6月27日(木))参加に当たっては以下のものをご持参いただくようお願い致します。

- 1 屋外での安全作業に適した作業着(半袖上着、半ズボンは不可)
- 2 雨合羽(雨天の場合でも実習は行います)

(注意事項)

ただし、いずれのものも家畜飼養現場で使用しているものは、たとえ洗濯済みであっても研修施設には持ち込みできませんので、ご注意願います。

長靴、ヘルメット、皮手袋、ゴーグルは、研修施設に備えてあるものを使用させていただきます。

以上